

## 兵庫県のキノコヨトウ亜科とタバコガ亜科

兵庫県産蛾類分布資料・11

高島 昭

兵庫県のウスベリケンモン亜科とケンモン亜科についてきペリはむし(26)2(高島,1998)で報告したが、同じ要領でキノコヨトウ亜科とタバコガ亜科について報告する。本報には、1998年12月31日までに収集できたデータを掲載した。なお、学名の後にカタログ番号を示した。参考・引用文献はアルファベット順の配列とした。また、次の方々には様々な御助言をはじめ、文献の御紹介、御恵与、採集記録の提供等を賜った。御芳名を記して御礼申し上げる(五十音順、敬称略)。

相坂耕作 近藤伸一 柴田 剛 山本義丸

## キノコヨトウ亜科 (BRYOPHILINAE)

この亜科はケンモンヤガ亜科に含める学者が多いというが、ここでは日本産蛾類大図鑑にしたがった。幼虫は裸出するが1次刺毛はやや長大で、刺毛基盤は発達し地衣類を食餌としているのが本亜科の特徴である。日本で17種が知られているが、そのうち兵庫県からは12種が知られている。県内における種別地域別分布状況を第1表に示した。

本亜科は一部の種を除いては採集例は少ない。全般に小型で目だたない種が多く、食餌が地衣類であるため湿潤な林床をすみかとする場合が多いようで、そのような場所での採集機会が少ないためと思われる。スズキキノコヨトウ、ヒメスジキノコヨトウ、ヘリボシキノコヨトウ、アオキノコヨトウの4種は、最近の記録がなく、県下での記録地も1~2カ所(それも県境部が多い)と限られており、分布状況はよくわかっていない。とくにスズキキノコヨトウ、ヒメスジキノコヨトウは全国的にも局地的な産出をする稀種である。今後綿密な調査が必要である。

1. *Byromoia melachlora* (Staudinger) (3457)

マルモンキノコヨトウ 注目種

北海道から九州までの本土域と屋久島に分布する。おそらく年1化と思われる。地衣類を食うと推定されているが、幼生期は判っていない。なお、♂の交尾器はケンモンヤガの一部の属と類似しており、分類上の位置も検討を要する。

県下での記録は少なく、西宮市、波賀町、氷ノ山、市島町で記録されているのみで局地的な少ない種である。

## [採集記録]

西宮市(生瀬,20.IX.1971,1♂,遊磨正秀<sup>35</sup>)

波賀町(坂の谷,28.VIII.1998,2♂,高島昭)

氷ノ山(-.-.-,山本義丸<sup>30</sup>)市島町(妙高山,-.-.-,山本義丸<sup>33</sup>)2. *Byromoia granitalis* (Butler) (3458)

イチモジキノコヨトウ

北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島、三宅島、御蔵島に分布し、日本で最も普通な種とされる。幼虫は樹皮上あるいは石上の地衣類を食べる。年1回夏に発生する。県下では低山地から山地にかけて各地に分布している。

## [採集記録]

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中審<sup>24</sup>; 同,-.-.-,岡村八郎<sup>14</sup>; 有馬,16.VIII.1992,1♂,東良雄<sup>19</sup>)川西市(黒川,5.VII.1997,1♂,高島昭<sup>22</sup>)猪名川町(上阿古谷,2.VIII.1983,1♀,夏秋ほか<sup>7</sup>)三田市(香下,1.IX.1992,1♂,東正雄<sup>19</sup>)高砂市(-,28.VIII.1976,1ex.,岡本清<sup>16</sup>)黒田庄町(喜多,4.IX.1959,2exs.; 12.VIII.1960,1ex.; 21.VII.1960,1ex.; 9.IX.1960,1ex.,岡本清<sup>17</sup>)姫路市(太市,-.-.1991,-,丸谷ほか<sup>9</sup>)波賀町(引原,13.VII.1973,1♂,遊磨正秀<sup>36</sup>)三室山(-.-.-,遠山ほか<sup>18</sup>)三日月町(下本郷,-.IX.-,川副昭人<sup>4</sup>)氷ノ山(-.-.-,遠山ほか<sup>18</sup>)関宮町(氷ノ山,-.-.1955,-,山本義丸<sup>28</sup>)水上郡(-.-.-,山本義丸<sup>29</sup>)津名町(大町畑,8.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>26</sup>)洲本市(中津川,3.VII.1972,1♀,登日邦明<sup>26</sup>)南淡町(阿万上町,2.IX.1961,-; 31.VIII.1972,-,藤平明<sup>1</sup>; 同,10.VII.1972,1♀,登日邦明<sup>26</sup>)3. *Cryphia mitsuhashi* (Marumo) (3462)

キノコヨトウ

前翅の地色は暗緑色で中央部は褐色を帯びるが、

個体変異がある。本州から九州、対馬、屋久島に普通に産する。神津島、三宅島、御蔵島からも記録がある。幼虫は地衣類を食べ夏に出現する。

県下では、東南部地域と丹波、淡路で普通であるが、西播と但馬からは今のところ報告がない。おそらく広く分布するものと思われる。

【採集記録】

西宮市(生瀬,6.IX.1970,1♀; 11.IX.1971,1♀,遊磨正秀<sup>35)</sup>)

宝塚市(西谷西部,3.IX.1988,1♀,東正雄<sup>19)</sup>)

川西市(平野,14.VII.1992,1♂; 10.IX.1992,1♀; 11.IX.1992,1♂,東良雄<sup>19)</sup>; 黒川,10.VIII.1996,3♂; 2.VIII.1997,1♀,高島昭<sup>22)</sup>; 同,7.IX.1996,2♂,近藤伸一<sup>22)</sup>)

猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂; 1.IX.1982,3♂,夏秋ほか<sup>6)</sup>)

西脇市(-,18.IX.1960,1ex.,岡本清)

黒田庄町(喜多,26.VII.1960,1ex.; 13.IX.1960,1ex.; 26.VII.1961,1ex.; 30.VII.1961,1ex.,岡本清<sup>17)</sup>)

氷上郡(-,-,-,-,-,山本義丸<sup>29)</sup>)

北淡町(常隆寺山,5.VIII.1972,2♂,登日邦明<sup>26)</sup>)

津名町(大町畑,27.VII.1972,1♀; 31.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>26)</sup>)

洲本市(中津川,11.VIII.1972,1♂,登日邦明<sup>26)</sup>)

南淡町(阿万上町,30.VIII.1961,-,藤平明<sup>1)</sup>; 同,9.IX.1986,-,藤平明<sup>2)</sup>)

4. *Cryphia griseola* (Nagano) (3465)

ハイイロキノコヨトウ 注目種

前翅地色は内横線の内側で白色に近く、外横線の外側で青灰色を帯びる。北海道から九州に至る本土域の内陸部と対馬に産し、8~9月に出現する。幼生期は判っていない。県下では局地的な分布を示し、氷ノ山で得られた記録が唯一のものであったが、筆者は最近波賀町でも採集している。西播から但馬にかけての山地には少ないながら広く分布していると思われる。

【採集記録】

波賀町(坂の谷,28.VIII.1998,1♂1♀,高島昭)

氷ノ山(-,-,-,-,-,山本義丸<sup>31)</sup>)

5. *Cryphia suzukiella* (Matsumura) (3466)

スズキキノコヨトウ 注目種

前翅は暗い灰青色を呈し、中央部は暗色を帯び、基部には同色の斑紋を表す。亜外縁部は灰白色を帯び、後縁角近くの黒色斑は周囲がぼやけている。全

国的にも稀な種で、大図鑑によるとこれまで京都府、高知・徳島県境の四足峠、対馬と兵庫県関宮町で得られているにすぎない。

【採集記録】

関宮町(轟,31.VII.1979,1ex.,木下総一郎<sup>5)</sup>)

6. *Cryphia minutissima* (Draudt) (3467)

ヒメスジキノコヨトウ 注目種

小型で前翅は灰緑色。内横線は直線上に斜走し、後縁部で小さく外方に角をなし、外横線に強く接近する。翅底に発する黒色条は内横線に達し、さらに外縁まで直線上に連なって見える。分布は局地的で新潟県新津市、弥彦山、長野県、比良山、春日山、香川県象頭山、英彦山などで散発的に得られているだけである。最近大阪府からも複数の報告例がある。幼生期は不明である。県下では、大阪府境の能勢妙見山で記録があるほかは報告がないが、北摂地域では新産地が見つかる可能性がある。

【採集記録】

妙見山(26.VIII.1983,2♂; 5.VIII.1984,1♂; 18.VIII.1984,5♂,夏秋ほか<sup>6)</sup>)

7. *Cryphia sugitanii* Boursin (3468)

マダラキノコヨトウ 注目種

前翅斑紋にかなりの変異が見られるが、亜中脈裂に沿う黒色条が出現しないこと、外横線の外側に不規則な白色影を表すこと、前翅基方の緑色部の後縁部が暗色鱗片で満たされていることなどで他種と区別できる。北海道から九州まで分布するが、西南日本では局地的となる。日本海側に産地が多いという。県下ではこれまで西播北部の波賀町の山地帯から氷ノ山にかけてのみ記録されているが、但馬山地では広く分布すると思われる。

【採集記録】

波賀町(音水,24.VIII.1978,1♂1♀,木下総一郎<sup>5)</sup>; 坂の谷,28.VIII.1998,1♂,高島昭)

氷ノ山(-,-,-,-,-,遠山ほか<sup>18)</sup>)

関宮町(氷ノ山,22.VIII.1954,1♂; 16.VIII.1955,1♂,山本義丸<sup>32)</sup>)

8. *Stenoloba oculata* Draudt (3469)

ヘリボシキノコヨトウ 注目種

この属はかつてコヤガ亜科の種として扱われていたため、ヘリボシコヤガという別名がある。胸背の鱗片は橙黄色。前翅はほぼ一様に灰色を呈し、翅頂

部に小さな斑紋、後縁角にほぼ円形の黄白色紋を有する。北海道南端部を北限とし、本州、九州に産するが少ない。幼生期は未知である。県下からは柏原町から採集されているだけである。

【採集記録】

柏原町(柏原,9.VI.1956,1♂,山本義丸<sup>33</sup>)

#### 9. *Stenoloba clara* (Leech) (3470)

ウスアオキノコヨトウ

シロスジウンモンコヤガという別名がある。頭部に円錐形の突出部を持ち、胸背には粗い鱗片塊を有し隆起する。東北地方以南九州までと対馬に産する。幼生期は不明。県下では北摂地域、黒田庄町、姫路市、大屋町から記録されており、里山に分布の中心がありそうである。

【採集記録】

川西市(黒川,2.VIII.1997,1♀,高島昭<sup>22</sup>)

妙見山(5.VIII.1984,6♂4♀,夏秋ほか<sup>6</sup>)

三田市(香下,28.VII.1989,1♀,東正雄<sup>19</sup>)

黒田庄町(喜多,18.VII.1960,3exs.; 6.VII.1960,1ex.;

10.VII.1961,1ex.; 12.VII.1961,1ex.; 20.VII.1961,1ex.,岡本清<sup>17</sup>)

姫路市(太市,-.-.1991,-,丸谷ほか<sup>9</sup>)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀<sup>37</sup>)

#### 10. *Stenoloba assimilis* (Warren) (3471)

アオキノコヨトウ 注目種

北海道から九州にかけて産する。年1回夏に出現するが幼生期は不明である。県下では少ない種で摩耶山と氷ノ山で記録されているだけである。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>24</sup>)

氷ノ山(-.-.-,山本義丸<sup>31</sup>)

#### 11. *Stenoloba manleyi* (Leech) (3472)

ウンモンキノコヨトウ

別名ウンモンコヤガ。この属の中では暖地性で関東以西九州までと対馬、屋久島、御蔵島に分布する。幼虫は地衣類を食べる。県下からは低山地を中心に散発的に得られている。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,-.-.-,田中蕃<sup>24</sup>)

猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,5♂,夏秋ほか<sup>6</sup>)

西脇市(-,15.IX.1960,1ex.,猪股涼一)

三日月町(下本郷,-.IX.-,川副昭人<sup>4</sup>)

大屋町(田淵山,5.VIII.1975,1♂,遊磨正秀<sup>37</sup>)

柏原町(柏原,-.-.-,山本義丸<sup>33</sup>)

北淡町(常陸寺山,7.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>26</sup>)

南淡町(阿万上町,22.IX.1973,-,藤平明<sup>1</sup>:同,30.VIII.1986,-,藤平明<sup>2</sup>)

#### 12. *Stenoloba jankowskii* (Oberthür) (3473)

シロスジキノコトウ

別名シロスジコヤガ。この属のなかでは最も大型である。北海道から九州に至る本土域と対馬、屋久島に分布する。幼生期は不明である。県下からは比較的普通に見られ、発生地では普通種である。

【採集記録】

宝塚市(南口2丁目,11.VII.1983,-,新家勝<sup>11</sup>:宝梅,28.VI.1991,1♂,東正雄<sup>19</sup>:西谷西部,2.VII.1987,1♂; 9.VII.1988,1♂; 13.VII.1988,1♂; 16.VI.1990,1♂1♀,東正雄<sup>19</sup>)

川西市(平野,17.VI.1992,1♂; 26.VI.1992,1♂; 14.VII.1992,1♂; 8.VII.1992,1♀,東良雄<sup>19</sup>:黒川,13.VII.1996,1♂; 5.VII.1997,1♀,高島昭<sup>22</sup>)

猪名川町(上阿古谷,17.VI.1983,1♂,夏秋ほか<sup>7</sup>)

黒田庄町(喜多,14.VI.1960,1ex.; 16.VI.1961,1ex.; 16.VII.1961,1ex.,岡本清<sup>17</sup>)

波賀町(引原,13.VII.1974,1♂,遊磨正秀<sup>36</sup>:同,9.VII.1988,1♀; 25.VII.1988,1♀,高島昭<sup>20</sup>:坂の谷,24.VII.1998,1♂,高島昭)

相生市(瓜生,7.VII.1989,1♀,高島昭<sup>21</sup>)

三日月町(下本郷,-.VI.-,川副昭人<sup>4</sup>)

氷ノ山(-.-.-,遠山ほか<sup>18</sup>)

水上郡(-.-.-,山本義丸<sup>29</sup>)

北淡町(常陸寺山,7.VII.1972,1♂,登日邦明<sup>26</sup>)

#### <除外した記録>

クロスジキノコトウという和名で下記の記録があるが、どの種をさすのか不明なので本文から省略した。

三日月町下本郷 -.VII.1983 - 川副昭人<sup>4</sup>)

#### <今後記録される可能性のある種>

#### 1. *Cryphia mediofusca* Sugi (3463)

スジキノコトウ

前翅地色は淡緑色で、中央部は暗褐色を呈する。内・外横線を結ぶ黒色条は太く明瞭である。北海道

から中部地方の内陸部、福井県にまで分布し、日本海側に産地が多いという。兵庫県では記録がないが、但馬北部地域では見つかるかもしれない。

## 2. *Cryphia maritima* Sugi (3464)

### ミナミキノコヨトウ

スジキノコヨトウより緑色部は濃く、基部に顕著な黒色斑を有する。日本特産で、徳島県南岸部、屋久島、奄美大島から記録されている。淡路では要注意である。

## タバコガ亜科 (HELIOTHINAE)

この亜科はヤガ科の中にあって比較的小さな亜科で、約20属を含み、北半球内陸草原に優勢で、北アメリカでは種類も多い。日本を含む温帯東北アジアの湿潤地帯では種類数は少ない。日本には9種が分布し、日本特産種はない。兵庫県ではうち7種が確認されているが、種々の作物の害虫であるタバコガ、オオタバコガを除いてはいずれも局地的で個体数も少ない。おそらく本来の生息に適した環境である大規模な草原が少ないためと思われる、生息しているも局地的かつ散発的に発生しているものと思われる。ニセタバコガ、アカヘリヤガは全国的な稀種である。

なお、県内における種別地域別分布状況を第1表に示した。

## 1. *Helocoverpa assulta* (Guenée) (3475)

### タバコガ

体翅とも黄褐色を帯び、とくに後翅地色は黄色、翅脈は暗色を帯びない点で次種と区別できる。アフリカからアジアにかけての亜熱帯地域に広域分布する。日本では東北地方以南に採集記録があるが、移動性があるとされ、定着可能な北限は定かでない。各種栽培作物に加害し、とくにナス科作物に対して嗜好性が強い。県内での報告されている採集記録は少ないが、これ以外にナス科作物の栽培地域では生息していると思われる。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,-,-,-,-,田中善<sup>24</sup>:同,-,-,-,-,岡村八郎<sup>14</sup>:有馬,26.VI.1960,-,森博<sup>15</sup>)  
宝塚市(南口2丁目,21.IX.1981,-,新家勝<sup>12</sup>)  
三日月町(下本郷,-,IX.1984,-,川副昭人<sup>4</sup>)  
関宮町(氷ノ山,-,-,-,1955,-,山本義丸<sup>28</sup>)

柏原町(柏原,-,-,-,-,山本義丸<sup>23</sup>)  
市島町(妙高山,-,-,-,-,山本義丸<sup>23</sup>)

## 2. *Helocoverpa armigera* (Hübner) (3474)

### オオタバコガ

前翅の色調は灰黄色から黄褐色まで変化が大きい。後翅の基半部は淡い灰白色ないし灰黄色。翅脈は暗色に染められ、亜外縁線は鋸歯状にならない。本州南西部以南に生息しているが北限は定かでない。成虫には移動性があり北海道でも採集されている。著名な農作物の害虫で食性は広い。県下の報告例は少ないが、トマトやカーネーションなど施設園芸地帯では普通に見られ、重要害虫となっている。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,22.X.1967,1♀,岡村八郎<sup>14</sup>)  
宝塚市(南口2丁目,13.IX.1984,-,新家勝<sup>12</sup>)  
川西市(平野,29.VII.1992,1♀,東良雄<sup>19</sup>)  
猪名川町(上阿古谷,20.VIII.1982,1♂,夏秋ほか<sup>6</sup>)  
黒田庄町(喜多,12.VIII.1960,1ex.,岡本清<sup>17</sup>)  
波賀町(引原,20.VIII.1988,1♂,高島昭<sup>20</sup>)  
南淡町(阿万上町,15.VIII.1987,-,藤平明<sup>2</sup>)

## 3. *Heliothis maritima* (Graslin) (3477)

### ツメクサガ 注目種

ユーラシア種で、ヨーロッパでは本種と近似の種 *H. viriplaca* (Hufnagel) がいるが日本では本種のみが分布している。北海道から九州までの本土域に分布する。各種の草本の花や実を好んで食べる。県下では宝塚市と猪名川町で記録されているのみで、他の地域からは報告がない。元来、草原性の蛾なので、生息しているも散発的な発生と思われる。

#### [採集記録]

宝塚市(南口2丁目,4.VII.1983,-,新家勝<sup>11</sup>:武庫川町,21.IV.1989,-,新家勝<sup>12</sup>)  
猪名川町(上阿古谷,25.VIII.1981,1♂,夏秋ほか<sup>6</sup>)

## 4. *Helicoverpa servens* (Butler) (3478)

### ニセタバコガ 注目種

局地的な産出をする種で、北海道、秋田、新潟、東京、群馬、長野、兵庫、岡山、香川などで記録されているが、個体数は少ない。県下ではこれまで神戸市、宝塚市、生野町、関宮町で記録がある。年1回初秋頃に出現するとされているが、宝塚市の記録は6月である。

#### [採集記録]

神戸市(摩耶山,5.VIII.1967,1♂,岡村八郎<sup>14)</sup>  
 宝塚市(西谷西部,18.VI.1988,1♀,東正雄<sup>19)</sup>  
 生野町(段ヶ峰,6.VIII.1953,1♂,山本義丸<sup>24)</sup>  
 関宮町(轟,24.VIII.1979,2♀,木下総一郎<sup>5)</sup>

5. *Pyrria umbra* (Hufnagel) (3479)

キタバコガ 注目種

前翅は黄褐色、外半部は紫褐色を帯びる。北海道から九州にかけての本土域と対馬に産するが個体数は少ない。夏～初秋に出現し年1回の発生である。幼虫はタバコの害虫であるが、県内ではタバコの栽培が減少し、本種も幻の蛾になりつつある。これまで県下で得られたのは、氷ノ山と扇ノ山の2例のみである。大阪府箕面でも記録はあるが、近年は見られないという。

【採集記録】

温泉町(扇ノ山,11.VIII.1984,1♂,谷田昌也<sup>25)</sup>  
 関宮町(氷ノ山,-.-.1954,-.-,山本義丸<sup>27)</sup>

6. *Pyrria bifasciata* (Staudinger) (3480)

ウスオビヤガ 注目種

前翅はやや暗い灰黄色、後翅地色も灰黄色で、暗色部の形状は前種に似るが、黄脈紋が大きく翅脈は暗色を帯びる。北海道と本州に産し、7～9月に出現する。幼虫は樹木性で、オニグルミとキリが食樹として知られている。県下では局地的で採集例も少なく、引原ダムと氷ノ山、日高町、柏原町で得られているだけであるが、播但山地には広く分布している可能性がある。

【採集記録】

波賀町(引原,29.VI.1974,1♂,遊磨正秀<sup>36)</sup>:同,22.IX.1988,1♂,高島昭<sup>20)</sup>  
 日高町(神鍋,19.VII.1976,1♀,山本義丸<sup>34)</sup>  
 氷ノ山(-.-.-.-,遠山ほか<sup>18)</sup>  
 柏原町(柏原,-.-.-.-,山本義丸<sup>32)</sup>

7. *Adisura atkinsoni* Moore (3482)

アカヘリヤガ 注目種

前翅は淡い灰褐色、ややピンク色を帯び、とくに前縁部は濃いピンクを呈する。暗色点列からなる外横線をもつ。局地的な分布を示し、これまで神奈川県、兵庫県、香川県、高知県、福岡県、大分県などで採集されている。年1回8～9月に出現し、アオイ科の植物を食べることが知られている。県下での分布も局地的で、神戸市、宝塚市、黒田庄町、生野

町で記録されているほか、能勢妙見山からも報告がある。

【採集記録】

神戸市(摩耶山,16.VIII.1963,1♀,田中蕃<sup>23)</sup>  
 宝塚市(西谷西部,20.VIII.1988,1♂,東正雄<sup>19)</sup>  
 妙見山(18.VIII.1984,1♀,夏秋ほか<sup>8)</sup>  
 黒田庄町(喜多,24.VIII.1962,1ex.,岡本清<sup>17)</sup>  
 生野町(栃原,4.VIII.1961,1ex.,岡本清)

<今後記録される可能性のある種>

1. *Schinia scutosa* (Denis & Schiffermüller)

(3476) ヨモギガ

北半球の温帯に広く分布する種で、日本における産出はすべて移動に関連する現象という。北海道では時に大発生することが知られ、秋田、岩手、山形、群馬、栃木、長野、広島各県で記録がある。飼育した結果、年2化することが確認されている。また、ミブヨモギが食草として確認された。県下での採集例はないが、採集される可能性はある。

<参考・引用文献>

- 1) 藤平 明(1974) 南淡の蛾(II). *Parnassius* (12), p.5-13.
- 2) 藤平 明(1987) 南淡の蛾(自刊).
- 3) 井上 寛ほか(1982) 日本産蛾類大図鑑 Vol.1:p.1-968, Vol.2:p.1-556, pls.1-392. 講談社・東京
- 4) 川副昭人(1987) 佐用郡三日月町の蛾覚え書 てんとうむし(10), p.1-10.
- 5) 木下総一郎(1980) 近畿地方の蛾類数種の記録. 蛾類通信106, p.93.
- 6) 夏秋 優・佐々木 昇(1982) 能勢地方の蛾(I) 上阿古谷・夏の蛾. *Crude* (23), p.1-37.
- 7) 夏秋 優・佐々木 昇(1983) 能勢地方の蛾(II) 上阿古谷・夏の蛾(続報). *Crude* (24), p.1-12.
- 8) 夏秋 優・佐々木 昇(1984) 能勢地方の蛾(III) 妙見山・夏の蛾(1). *Crude* (25), p.15-22.
- 9) 日本野鳥の会(1992) 姫路市自然観察の森林内基礎調査報告書.4-6昆虫類, p.119-151.
- 10) 新家 勝(1982) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その1). きべりはむし10(2), p.10-16.
- 11) 新家 勝(1984) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾(続報その3). きべりはむし12(2), p.53-55.
- 12) 新家 勝(1985) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾

- (統報その4). きべりはむし13(2), p.36-40.
- 13) 新家 勝(1993) 宝塚大橋の照明灯で採集した蛾 (統報10). きべりはむし21(2), p.53-64.
- 14) 岡村 八郎(1987) 神戸市摩耶山の蛾類採集目録. てんとうむし(10), p.37-45.
- 15) 岡村 八郎・森 博(1987) 有馬の蛾より. てんとうむし(10), p.66-67.
- 16) 岡本 清(1997) 高砂の蛾. てんとうむし(11), p.40-45.
- 17) 岡本 清(1998) 黒田庄町で採集した蛾(1). てんとうむし(12), p.30-38.
- 18) 奥谷 禎一編(1974) 中国山脈東端の昆虫相. 東中国山地自然環境調査報告p.173-191.
- 19) 宝塚市教育委員会(1993) 宝塚の昆虫Ⅴ 蛾類(Ⅱ).
- 20) 高島 昭(1995) 波賀町引原ダム周辺における蛾相第1報. きべりはむし23(1), p.6-16.
- 21) 高島 昭(1996) 相生市三濃山の蛾(1). きべりはむし24(1), p.27-39.
- 22) 高島 昭(1998) 黒川の蛾. きべりはむし26(1), p.23-38.
- 23) 田中 蕃(1966) 神戸市摩耶山に産する若干の蛾類. 蛾類通信45, p.442-444.
- 24) 田中 蕃(1967) 神戸市摩耶山に産する大蛾類. 佳香蝶19(71), 89-104.
- 25) 谷田昌也(1986) 扇ノ山の蛾類分布資料(1).

- IRATSUME(10), p.30-37.
- 26) 登日邦明(1974) 淡路島産蛾類分布資料(Ⅱ). 蛾類通信76, p.261-266.
- 27) 山本義丸(1955) 氷ノ山の蛾について(第一報). 兵庫生物3(1/2), p.3-6.
- 28) 山本義丸(1956) 氷ノ山の蛾について(第二報). 兵庫生物3(3), p.121-123.
- 29) 山本義丸(1958) 兵庫県水上郡昆虫目録. p.12-50.
- 30) 山本義丸(1958) 氷ノ山の蛾について(第三報). 兵庫生物3(4), p.237-239.
- 31) 山本義丸(1959) 氷ノ山の蛾類について(補遺). 兵庫生物3(5), p.383-384.
- 32) 山本義丸(1989) 氷ノ山の蛾類について(後報). 兵庫生物9(5), p.295-297.
- 33) 山本義丸(1996) 兵庫県水上郡地方の蛾類(1). きべりはむし24(2), p.1-13.
- 34) 山本義丸(1997) 兵庫県で採集した蛾の記録. きべりはむし25(2), p.54-57.
- 35) 遊磨正秀(1973) 六甲山地域の蛾類Ⅰ. きべりはむし2(1), p.1-9.
- 36) 遊磨正秀(1973) 引原ダム(宍粟郡波賀町)のヤガ類(Ⅰ). きべりはむし2(1), p.16-19.
- 37) 遊磨正秀(1981) 養父郡大屋町田淵山の蛾類について(Ⅰ). きべりはむし9(1), p.3-6.
- (TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

第1表 キノコトウ亜科、タバコガ亜科各種の兵庫県下における地域別分布状況

	神 戸	阪 神 北 摂	中 東 播 南 部	中 東 播 北 部	西 播 南 部	西 播 北 部	南 但	北 但	丹 波	淡 路 北 部	淡 路 南 部	記 録 地 数	特 記 事 項
キノコトウ亜科													
1. マルモンキノコトウ		○					○			○		4	注目種 局地的
2. イチモンジキノコトウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	
3. キノコトウ		○		○						○	○	12	
4. ハイイロキノコトウ						○	○					2	注目種
5. スズキキノコトウ							○					1	注目種 全国的稀種
6. ヒメスジキノコトウ		○										1	注目種 局地的
7. マダラキノコトウ						○	○					3	注目種 局地的
8. ヘリボシキノコトウ									○			1	注目種
9. ウスアオキノコトウ		○	○	○								6	少ない
10. アオキノコトウ	○						○					2	注目種
11. ウンモンキノコトウ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	8	
12. シロスジキノコトウ		○		○	○	○	○	○	○	○		14	
計	3	7	2	5	3	5	9	0	6	4	3		
タバコガ亜科													
1. タバコガ	○	○			○		○		○			7	
2. オオタバコガ	○	○		○		○					○	7	
3. ツメクサガ		○										3	注目種
4. ニセタバコガ	○	○					○					4	注目種 局地的
5. キタバコガ							○	○				2	注目種
6. ウスオビヤガ	○	○		○			○	○	○			4	注目種
7. アカヘリヤガ	○	○		○								5	注目種
計	4	5	0	2	1	2	5	2	2	0	1		